

第2弾
■大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館 昭和 100 年/終戦 80 年企画■
企画展「田辺聖子が生きた 1945 年 6 月/1945 年 8 月」を開催
【第 1 弾】会期:2025(令和 7)年 6 月 3 日(火)～6 月 30 日(月) 【終了】
【第 2 弾】会期:2025(令和 7)年 8 月 1 日(金)～8 月 30 日(土)
会場:田辺聖子文学館

大阪樟蔭女子大学（大阪府東大阪市菱屋西）は、田辺聖子文学館の昭和 100 年/終戦 80 年企画【第 2 弾】として、8 月 1 日（金）～8 月 30 日（土）に、**企画展「田辺聖子が生きた 1945 年 8 月」**を開催します。6 月に開催した【第 1 弾】に続いて開催する【第 2 弾】になります。

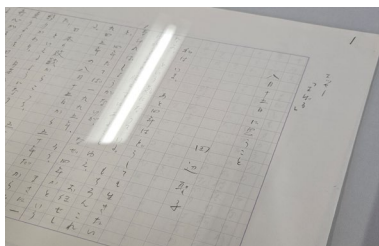
本件のポイント

- 田辺聖子さんが書き続ける、少女時代に経験した〈戦争〉とその後の〈戦後〉
- 田辺聖子さん没後に再発見された終戦前後の日記『田辺聖子 十八歳の日の記録』(文藝春秋 2021) は、同時期に関する貴重な史料
- 田辺聖子さんの初公開直筆原稿や初出紙スクラップブックを展示

■田辺聖子が作家として書き続けてきた、少女時代に経験した〈戦争〉とその後の〈戦後〉について

「昭和三年生れの私は、生涯のほとんどを過した〈昭和時代〉に強い思い入れがある」(『おかあさん疲れたよ』あとがき)という田辺聖子(1928-2019)は、作家として、少女時代に経験した〈戦争〉とその後の〈戦後〉について書き続けてきました。さらに没後に再発見されて『田辺聖子 十八歳の日の記録』(文藝春秋 2021)として刊行された終戦前後の日記は、同時期に関する貴重な史料となっています。

本展では、『田辺聖子 十八歳の日の記録』に刻まれた 1945 年 8 月 15 日の敗戦/終戦を中心に、1945 年 8 月の日記内容に関連する田辺聖子の作品を展示します。同日記が書かれた時期は、田辺聖子が樟蔭女子専門学校に在学した時期と重なり、終戦 80 年となる今年、本展をこの地(大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館)で開催する意義は大きいと思われます。是非、この機会にご来館下さい。



直筆原稿「八月十五日に思うこと」【初公開】



「樟蔭女專の思い出」(『大阪春秋』1967.12)



「おかあさん疲れたよ」スクラップブック

田辺聖子文学館 企画展「田辺聖子が生きた 1945 年 8 月」
■日 時:【第 2 弾】2025 (令和 7) 年 8 月 1 日(金)～8 月 30 日(土) 9:00～16:30
■休館日:日曜・祝日・大学の休業日 ※8.13(水)～17(日)休館
■場 所:大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館(大阪府東大阪市菱屋西 4-2-26)
■入場料:無料 ▼大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館ウェブサイト
<https://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp/events/20230107.php>
【学芸員によるギャラリートーク(展示解説)】※予約不要
■日 時:2025 (令和 7) 年 8 月 12 日(火) 各日 13:30～14:30 (受付 13:00～)

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材・掲載のご検討をよろしくお願い申し上げます。

＜本リリースに関するお問合せ先＞ 学校法人樟蔭学園 学園広報課(担当:服部・高田)

TEL: 06-6723-8152 (直通) (平日 9 時～17 時) FAX:06-6723-8263

E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp